

《令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果について》

(1) 実施日 令和4年5月10日(火)

(2) 実施学年 4～6年 個人の伸びを追跡し、児童一人一人の学力を確実に伸ばしていくことがこの調査の大きな目的です。中学入学後も3年間継続して行われます。

(3) 実施教科 国語・算数

(4) 調査の結果については下記のとおり (%は平均正答率を表しています)

①平均正答率と学力のレベル等

学年	4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
埼玉県	62.1%	63.0%	56.2%	63.0%	63.8%	59.8%
狭山市	61.8%	61.7%	53.1%	60.6%	63.1%	59.2%
本校	64.8%	65.0%	55.3%	61.3%	65.8%	59.1%
県平均との差(R4)	+2.7%	+2.0%	-0.9%	-1.7%	+2.0%	-0.7%
学力のレベル	1～12の段階に分け、それぞれのレベルを更にA、B、Cに3分割して表す。 最上層は12-A。小4は1～7、小5は2～8、小6は3～9の範囲の中で表される。					
R4年度(県)	6-C	5-B	6-B	6-C	7-B	7-A
R4年度(本校)	6-B	6-C	6-A	6-C	7-A	7-A
R3年度(本校)	—	—	6-B	5-B	7-C	6-A
1年間の伸び	—	—	+1	+2	+2	+3

②考察

本校の今年度の学力のレベルは、狭山市の平均値と比較するとすべての学年・教科でほぼ同等かそれ以上の結果となりました。また、1年間の学力の伸びについても、5、6年生共に+数値となり、順調に学力を身に付けていることがわかりました。

東小の解答結果から分析すると、各学年、次のような強み、弱みがみられました。

4年生	国語	強み	・語句の意味を理解すること ・文脈に沿った正しい漢字や言葉を読み書きすること
		弱み	・物語に書かれている出来事を読み取ること ・時間内に最後まで取り組むこと
	算数	強み	・図形(三角形や円)についての知識理解
		弱み	・大きな数の表し方 ・小数に関わる知識理解
5年生	国語	強み	・文脈に沿った正しい漢字や言葉を読み書きすること・指示語の役割を理解すること
		弱み	・目的を意識して質問しながら話を聞くこと・必要なことを記録しながら話を聞くこと
	算数	強み	・数量の関係を式に表すこと ・正三角形の性質
		弱み	・立方体の面と辺の垂直の関係 ・記述式問題 ・時間内に最後まで取り組むこと
6年生	国語	強み	・登場人物の言動の意味を理解し、物語の出来事を読み取ること
		弱み	・目的に応じて自分の考えをまとめて書くこと
	算数	強み	・図形(三角形、円、立方体直方体など)性質に関わること
		弱み	・小数と分数の関係について理解すること ・小数の乗法

学校全体の課題として、無回答が調査問題の終盤に多く、時間内に終わらない児童が多かったことが挙げられます。問題をスムーズに読み進め、要旨を素早くとらえる力を高めていくことが大切であると感じます。これは、昨年度も同様の状況にありましたが、まだ改善していないところでもあります。学校では、毎週水曜日の朝に読書タイムを設け、活字を読む習慣作りを行っています。また、日々の学習での音読指導、家庭での音読の宿題など、読む活動を多くの場面で取り入れながら指導を行っています。

ご家庭におかれましては、学力学習状況調査の個人結果(9月上旬配布予定)をご確認いただき、お子様の学習状況を把握していただければ幸いです。尚、問題につきましては、公表されません。(返却もありません)類似問題につきましては、埼玉県学力学習状況調査「復習シート」を参考にご活用ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/images/fukusyuuusi-to2.html>



《令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果について》

- (1) 実施日 令和4年4月19日(火)
- (2) 実施学年 6年
- (3) 実施教科 国語・算数・理科
- (4) 調査の結果については下記のとおり (％は平均正答率を表しています)

①平均正答率

教科	国語	算数	理科
本校	72.0 %	63.0 %	68.0 %
埼玉県	67.0 %	64.0 %	65.0 %
全国(公立学校)	65.6 %	63.2 %	63.3 %
狭山市	65.0 %	62.0 %	64.0 %
全国平均との差	+6.4 %	-0.2 %	+4.7 %

②令和4年度 問題の特徴

国語：グループでの話し合いの様子など学校生活の場面を題材にした設問が目立ち、知識と思考力を問う傾向にあった。

算数：プログラミングに関わる問いが初めて出題された。また、計算やグラフ、表の読み取りを通じて、日常生活の課題を解決させる問題も多く見られた。

理科：3年に1度実施。今年度は、提示された情報を分析や解釈することで、自分の考えを持つことができているかどうかを確認する問題が見られた。

③考察

本校の結果を全国平均と比べていくと、国語、理科ともに平均を大きく上回る結果となりました。しかし、課題も見られました。分析していくと、大きな課題として全国と比べて問題終盤に無回答の児童が多く見られました。これは、埼玉県学力学習状況調査にも共通した課題ですが、問題を解く力は備えているのに最後までたどり着かない児童が多いということです。

次に、質問紙の回答結果から気になる点を2点ほどお伝えします。

1点目は、今夏のニュース報道でも取り上げられていました、【小中学生ともに7割以上が平日でも1日1時間以上パソコンや家庭用ゲーム機、スマートフォンなどによるテレビゲームをしている】【平均時間は小学生で2.19時間、中学生では2.10時間】という内容についてです。

Q 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか？

	4時間以上	3時間以上, 4時間より少ない	2時間以上, 3時間より少ない	1時間以上, 2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
本校	22.8 %	12.0 %	23.9 %	20.7 %	15.2 %	5.4 %
埼玉県	16.8 %	12.9 %	19.3 %	26.2 %	16.7 %	8.0 %
全国	17.2 %	13.5 %	19.5 %	25.9 %	16.4 %	7.5 %

本校は1時間以上の利用者が79.4%と高い割合にありました。さらに、長時間の利用者も全体的に多いこともわかりました。昨今の研究では、テレビゲームをする時間の長さ、学力テストの平均正答率との間には、相関関係があることが明らかにされています。この点を改善していくと児童の学びはより深まっていくのでしょうか。

2点目は、近年の懇談会でも多く耳にするようになりました、「うちの子は、いつもタブレットやスマホでYouTubeなどの動画ばかりみています」という内容についてです。

Q 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか？(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)

	4時間以上	3時間以上, 4時間より少ない	2時間以上, 3時間より少ない	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	30分より少ない	もっていない
本校	12.0%	15.2 %	12.0 %	19.6 %	9.8 %	8.7 %	22.8 %
埼玉県	10.8%	8.5 %	12.6 %	17.6 %	13.2 %	15.3 %	21.9 %
全国	10.9%	8.8 %	12.8 %	18.1 %	13.9 %	14.7 %	20.6 %

全国や県に比べて長時間利用している児童が多いことがわかりました。デジタル機器の長時間利用による心身へ悪影響も心配されます。ぜひ、今後とも引き続きお子様と対話をしながら、ご家庭での節度ある利用に向けたルール作りをお願いします。